

令和元年5月23日



書セキ鈴 ~第11号~



相川実業高校 図書員がよい

## 新入生歓迎イベント

4月24日に図書館で新入生歓迎イベントを開催しました

イベントでは、本のタイトルあてゲーム、間違い探しゲーム、

図書局おすすめ本の紹介などを行いました。

1時間という短い時間でしたが、楽しんでいただけたのではないのでしょうか。



まちがいさがしゲームの様子です

景品を選んでいる様子です



## 商品をゲットした人たち



おめでとう

ございます！！

## 新着本 紹介

令和元年度、最初の新着図書は「2019年度本屋大賞」1位～10位の作品です。

本屋大賞とは、「全国の書店員が選んだイチバーン！売りたい本」です。図書館入口に配架してありますので是非、皆さん手にとって読んでみてください！！ そのほか希望図書がありましたら、ぜひ図書館に来てください。どしどしリクエストをお願いします！

### 今回本屋大賞で選ばれた本はこちら↓

#### 一位 『そして、バトンは渡された』

主人公の優子は、家族形態が17年で7回も変わっている。どの親も優子に愛情をそそいでくれて優子は自分が不幸だと感じていなかった。親子とは何か？家族とは何か？考えさせてくれる作品です。

#### 二位 『ひと』

父が3年前に死んでしまい、大学2年の秋、母が突然死してしまい、たった一人になってしまった聖輔…でも、周囲の人はあたたかく支えてくれ…。

#### 三位 『ベルリンは、晴れているか』

終戦後、ドイツ人の少女の恩人にあたる男が歯磨き粉の毒により不審な死を遂げた…容疑者扱いされるアウグステはその死を彼の甥に伝える旅の途中で…。

#### 四位 『熱帯』

森見は学生時代に幻の小説、「熱帯」を手に入れるが、読んでいる途中で失くしてしまい読了できなかった。そんなある日、森見は「沈黙読書会」なる奇妙な会に参加する。そこで森見はある女性が抱えている「熱帯」に気づく。

#### 五位 『ある男』

弁護士はかつての依頼者である里枝から「ある男」について奇妙な相談を受ける。依頼者である里枝は二歳の次男を失い夫と別れた。長男を引き取った里枝は14年ぶりに故郷に帰り、大祐と再婚し、生まれた子どもと4人で幸せに暮らしていた。

ある日大祐が事故で命を落とす。だが、実は「大祐」は全くの別人だった…。

#### 六位 『さざなみのよる』

「癌」で死ぬと言われた女性ナスミ。この世を去るにあたり、どんなことを感じたのか、どのように生きたのか…命のまばゆいきらめきを描いた感動物語。

#### 七位 『愛なき世界』

恋のライバルが、人類だとは限らない！？

洋食屋の見習い陽太は、植物学研究者を目指す紗英に恋をしたが、紗英は恋愛よりも植物を研究することが好きだった。人生のすべてを捧げる紗英に恋の光合成を起こせるのか…。

#### 八位 『ひとつむぎの手』

大学病院で過酷な勤務に耐えている医師・祐介は、医局の最高権力者の教授に、三人の研修医の指導を指示される。彼らを入局させれば、念願の心臓外科医への道が開けるが、失敗すれば…。さらに、教授を告発する怪文書が出回り、祐介は「犯人探し」を命じられる。

#### 九位 『火のないところに煙は』

神楽坂を舞台に怪談を書きませんかという依頼が来た。執筆依頼を受けるとともに情報を集め進めていくと、最後のまとめ作業の時にそれぞれの作業に繋がりがあるときづいてしまい…。

#### 十位 『フーガはユーガ』

優我はファミレスで一人の男に語り出す。双子の弟・風我のこと、決して幸せでなかった子供時代の事、そして彼ら兄弟だけに起こる特別な「アレ」のこと、二人が入れ替わる瞬間移動の存在…。



← 一位 『そして、バトンは渡された』



← 三位 『ベルリンは、晴れているか』

二位 『ひと』 →

